

令和7年度 自己評価・施設関係者評価報告書

令和8年2月9日

認定こども園長岡和光幼稚園なごみ保育園

1. 本園の教育及び保育の目標

知・徳・体、調和のとれた保育
ほとけさまを拝みます／お話をよく聞きます／なかよく遊びます

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画を基に設定した園評価の具体的な評価項目や計画

(3歳以上児)誰もが主役、支え合う 優しい力を育てよう
(3歳未満児)笑顔で包む 子どもの未来、「その子らしさ」を育もう

3. 自己評価の実施状況 / 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 実施日	2025/10/24	評価 方法	毎月の保育の振り返りを基に、園で定めた50項目に沿って評価する。
-----------	------------	----------	----------------------------------

	具体的な評価項目	評価	取り組み状況
1	えこひいきなく、どの子どもにも公平に対応しましたか。	A	感情的にならず、えこひいきなく関わることができた。
2	一日の保育の中で一瞬の静寂の時間を取り入れていますか。	A	絵本の読み聞かせや5分程度の瞑想の時間をもけるなど工夫した。
3	保育室を整備し、楽しい雰囲気を作成しましたか。	B	整理整頓ができていない時があった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 施設関係者評価の実施状況

評価者	小学校長、幼稚園長、保護者役員代表		
評価 実施日	令和7年10月24日(金)	評価 方法	自己評価、指導案等を閲覧、確認後、公開保育を用いて施設関係者より評価をいただく。

※公開保育の取組と組み合わせて施設関係者評価を実施した場合のみ、公開保育の実施状況が分かる資料を別途添付すること。なお、公開保育と施設関係者評価をどのように組み合わせたか分かるようにすること。

評価者の意見

■施設関係者評価

(所属)小学校長

- ・要領のねらいが達成している。
- ・子どもたちへのアドバイスが短く的確であり、子ども同士の人間関係の発展ができています。
- ・一人遊びから自然と輪ができ、遊びが広がっていた。
- ・空間づくりが子どもが選択できるようにできていてよい。
- ・色水遊びで3色の色水から思い思いに混ぜ合わせたお気に入りやをどのように混ぜたか、自分がどの色が好きか意思を伝えることができ、自分の考えを表現できていた。
- ・年少者が椅子取りゲームが勝ち残ると、年長者が素直にほめていた姿がよい。
- ・自然に子ども自身が取り組めるような声掛けができていた。
- ・先生自身が楽しんでいる姿がよかった。

(所属)幼稚園長

- ・子どもにとって自由に発想できる環境が作られていた。
- ・園庭に遊具がないことで子ども自身が自分で考えて遊びを工夫する姿があった。
- ・種類の違う砂場で砂の特性を利用して遊ぶ姿があった。
- ・先生があまり干渉しないようにすることで、子ども同士の話し合いができていた。
- ・やりたいことを自由にやらせており、一日の流れがわかるホワイトボードもあることで、全体的に落ち着いて遊んでいた。
- ・誰がどの学年かわからないくらい異年齢交流が進み溶け込んでいた。

(所属)保護者代表

他クラス子ども達とも楽しんで遊べていて良い経験をしているなと思いました。
自分で好きな遊びを選んでいるからか、より意欲的に遊べていて良いなと思いました。

5. 施設関係者による評価(上記 3. の自己評価結果に関する評価)及び意見の概要

一人ひとりの園児にしっかり目を配らせている。メリハリのある保育であるとともに、保育環境に工夫が見られた。
--

6. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育実践の多様性	縦割り、一斉、コーナー保育など多様な保育実践に取り組み、バランスのよい保育を目指す。
2	園庭の環境構成	近年の酷暑に対応すべく園庭に日よけを設置し、屋外活動の充実を図る。
3		

7. 自己評価の結果・施設関係者評価の結果の公表の状況

公表 時期	令和8年 3月頃	公表 方法	ホームページ上で公表
----------	----------	----------	------------